

□ 主な内容

【平成 25 年度 EST 創発セミナーの参加者募集中！】

沖縄(9/18 那覇)、中部(10/23 豊田)、北陸信越(10/31 金沢)、東北(11/6 秋田)でセミナーの開催を予定しています。皆様のご参加をお待ちします。

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu2013.html>

【第 3 回地域の交通環境対策推進者養成研修会の参加者募集中！】

平成 25 年 10 月 9 日(水)～11 日(金)の 3 日間、岐阜市を研修地域として実施します。参加申し込みは 8/30(金)締め切りとなっています。〔※土木学会認定 CPD プログラム(16.0 単位)・都市計画 CPD プログラム(19.5 単位)〕

<http://www.estfukyu.jp/training2013.html>

【第 5 回 EST 交通環境大賞への応募を受付中！】

今年度も EST 交通環境大賞への応募を受け付けています。前回から大賞が 2 点になり、国土交通大臣賞、環境大臣賞を予定しています。〔応募締切: 10 月 15 日(火)〕

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2013.html>

□ 目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 85 回)

●「健康に着目した自動車利用の抑制にむけた取り組みと今後への期待」

【阿南工業高等専門学校建設システム工学科 准教授 加藤 研二】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 85 回)

●「エコ交通マップについて」

【名古屋市住宅都市局都市計画部交通企画課 技師 川原 志保】

3. ニュース／トピック

●「電気自動車による地域交通グリーン化事業」の公募について【国土交通省】

●「超小型モビリティの導入促進」事業の公募について【国土交通省】

●平成 25 年度グリーン物流パートナーシップ優良事業の募集について【国土交通省、経済産業省】

●「全日本エコドライブチャンピオンシップ 2013」の開催について【環境省】

●「平成 25 年度北陸信越運輸局交通環境対策アクションプラン」の策定について【北陸信越運輸局】

- 第 5 回 EST 交通環境大賞を募集中【EST 普及推進委員会】
- 「交通・観光カーボンオフセットガイドライン(2013 年 8 月改訂版)」の公表について【エコモ財団】
- デマンド交通実証実験運行について【小牧市】
- 御堂筋で歩行者空間化に向けた社会実験を実施します【大阪市】
- 松山市自転車ネットワーク計画の策定について【松山市】
- 「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2013」開催について【一般社団法人カーフリーデージャパン】
- 宮城県石巻市の仮設住宅に電気自動車を提供【三菱自動車工業株式会社】
- カーシェアリング主要 8 社の市場動向レポート公開について【株式会社ジェイティブス】
- ハンブルクにおける最新技術搭載のハイブリッドバス調達支援について【ドイツ連邦環境省】

4. イベント情報

- 沖縄 EST 創発セミナー「クルマに頼り過ぎない環境負荷の少ない交通環境の実現に向けて」【2013/9/18】
- 第 3 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(岐阜市)【2013/10/9-11】
- 北陸信越 EST 創発セミナー「環境にやさしい『自転車』を活かしたまちづくりを目指して」【2013/10/31】
- 東北 EST 創発セミナー「秋田発！健康で低炭素な公共交通の推進を目指して」【2013/11/6】
- 交通・観光カーボンオフセット実務担当者向け講習会【2013/8/30】
- グリーン経営講習会【2013/9/12】
- EV・PHV タウンシンポジウム in 東京 - (仮称)【2013/9/27】
- バスフェスタ 2013 in TOKYO【2013/10/5】
- LRT 都市サミット豊橋 2013【2013/10/25-26】
- エコプロダクツ 2013[第 15 回]【2013/12/12-14】

5. その他

- EST パートナースHIP会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 平成 25 年度交通・観光カーボンオフセットモデル事業を募集しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 記事募集中！

=====

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 85 回)

●「健康に着目した自動車利用の抑制にむけた取り組みと今後への期待」

【阿南工業高等専門学校建設システム工学科 准教授 加藤 研二】

地方都市の1つである徳島県の自動車保有台数は年々増加しています。特に自家用乗用車の増加が大きく、平成 21 年時点の保有台数は昭和 40 年代の約 7 倍、1 世帯当たりでは 1.3 台の保有となっています。その一方で公共交通利用者は年々減少し、昭和 40 年代に比べて、バスの利用者は 10 分の 1、鉄道利用者は 3 分の 1 となっています。

このような状況を改善すべく平成 12 年 1 月に、「人と自然とが共生する住みやすい徳島」を実現する協働組織を設立し、本組織を中心に平成 20 年度以降、地球温暖化対策における実践活動を行いました。その結果、大幅な二酸化炭素排出量の削減の可能性を示唆する成果が得られた一方で、実際の参加者は数%にとどまるなど、環境への意識はあるが自動車利用をやめられない人が多いことも明らかとなりました。

そこで、自動車利用を抑制できない人が、自発的に自動車利用を抑制するには何が有効かを検討するための調査を実施しました。その結果、健康に関するアドバイスを提供することなどの健康支援を行う施策が実施できれば、奨励金などの金銭的な施策よりも、自動車利用を抑制できるとともに、最大で 10 倍程度の CO2 削減効果があることが分かりました。

また、健康支援を継続的にサポートできるように、スマートフォンを利用したサポートツールを開発し、健康支援に関する種々の情報を提供する実験を行いました。その結果、継続的に健康支援を行うことができれば、自動車利用を抑制できる可能性が高まるとともに、高血圧症・2 型糖尿病等の生活習慣病発生リスクを低減できる可能性を示すことができました。

糖尿病による死亡率が全国ワースト 1 位(平成 5 年から平成 24 年までで 19 回)である徳島県において健康に着目する施策はとても有益であると思っています。今後は、より多くの方が手軽に楽しく継続し実行していただけるような、より魅力ある施策あるいはツールの提案ができるよう努力していきたいと考えています。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 85 回)

●「エコ交通マップについて」

【名古屋市住宅都市局都市計画部交通企画課 技師 川原 志保】

名古屋市では、過度に車に依存することなく、公共交通や自転車、徒歩などを含めた移動手段を、状況に応じて使い分けるライフスタイルである「交通エコライフ」を推進しています。「エコ交通マップ」とは、バスや鉄道のルート、歩いて楽しいところ、地域の魅力あるスポットなどを記したマップのことであり、マップの作成過程を通じて、交通に対する人々の意識を変化させることを目的としています。

エコ交通マップは通常、地元住民が主体となった全 5～6 回のワークショップの中で、議論を重ねながら作成しています。ワークショップでは、自分の交通行動を振り返り、車利用を減らすことができないか考えます。また、グループごとに実施するまち歩きを通して、地域の交通事情を再認識したり、地域の魅力あるスポットを発見します。その後、まち歩きの成果をグル

ープごとに発表し、マップに記載する内容について話し合い、エコ交通マップが完成します。マップの作成は平成 20 年度から継続して取り組んでおり、平成 24 年度までの 5 年間で計 7 地区のマップを作成しました。

ちなみに、ワークショップ参加者を対象に、ワークショップの事前・事後でどのように意識や行動が変わったかアンケート調査を行ったところ、「エコ交通マップをつくることによって、交通・環境に対する意識が変わった」と回答した人が 55%、「公共交通で出掛ける機会が増えた」と回答した人が 32%となり、マップの作成に関わった人の交通行動に対する意識変化へとつながることがうかがえます(平成 23 年度 守山区大森北地区のアンケート結果より)。また平成 24 年度は、過去に実施した栄・大須地区のマップづくりに参加された方が新たな担い手となり、新しい地域でマップづくりを実施するなど、継続して取り組んできたことにより、市民主体でマップが作成されるという、新たな一面が見られました。

これまで、本市におけるエコ交通マップは、作成過程を通じてワークショップ参加者の交通行動に対する意識を変えていくことに重点を置いていました。今後はエコ交通マップを「つくる」だけでなく、「利用される」マップとなるように、マップ配架先を検討したり、配布するターゲットを絞るなど、エコ交通マップを効果的に活用していくための方法も検討していく予定です。

なお、過去に作成したエコ交通マップは、名古屋市の公式ホームページに掲載されておりますので、ご覧ください。

(<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/2-2-4-2-6-0-0-0-0-0.html>)

3. ニュース／トピック

●「電気自動車による地域交通グリーン化事業」の公募について【国土交通省】

国土交通省では、環境性能に特に優れた電気自動車の普及を図るため、他の地域や事業者による電気自動車の集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取り組みを行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの電気自動車の導入を重点的に支援するため、「電気自動車による地域交通グリーン化事業」の公募を開始しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000103.html

●「超小型モビリティの導入促進」事業の公募について【国土交通省】

国土交通省では、超小型モビリティの普及や関連制度の検討に向け、成功事例の創出、国民理解の醸成を促す観点から、地方公共団体等の主導によるまちづくり等と一体となった先導導入や試行導入の優れた取組みを重点的に支援する「超小型モビリティの導入促進」事業の公募を開始しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000102.html

●平成 25 年度グリーン物流パートナーシップ優良事業の募集について【国土交通省、経済産業省】

国土交通省・経済産業省では、物流分野における地球温暖化対策に特に顕著な功績のあった事業者に対し、大臣表彰・局長級表彰を行うため、平成 25 年 9 月 6 日(金)まで優良事業を募集しています。受賞者には、12 月に開催予定の「グリーン物流パートナーシップ会議」において取組内容を紹介いただく予定です。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000110.html

●「全日本エコドライブチャンピオンシップ 2013」の開催について【環境省】

環境省は、全日本学生自動車連盟が 8 月 26 日(月)に鈴鹿サーキットにて開催される「全日本エコドライブチャンピオンシップ 2013」に特別協力し、エコドライブの普及による地球温暖化防止の推進を呼びかけます。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17038>

●「平成 25 年度北陸信越運輸局交通環境対策アクションプラン」の策定について【北陸信越運輸局】

北陸信越運輸局では、交通・運輸部門が起因となる大気汚染や地球温暖化問題への取組みを着実に推進していくため、「平成 25 年度北陸信越運輸局交通環境対策アクションプラン」を策定しました。

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokushin/hrt54/environment/actionplan.html>

●第 5 回 EST 交通環境大賞を募集中【EST 普及推進委員会】

EST 普及推進委員会及びエコモ財団では、地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰する EST 交通環境大賞を募集しています。前回から大賞が 2 点になり、国土交通大臣賞、環境大臣賞を予定しています。以下のウェブページをご覧ください。全国各地で交通環境対策に取り組まれている自治体、企業、市民団体等の皆様が応募されることを期待しています。〔応募締切:10 月 15 日(火)〕

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2013.html>

●「交通・観光カーボンオフセットガイドライン(2013 年 8 月改訂版)」の公表について【エコモ財団】

エコモ財団では、交通・観光分野でカーボンオフセットを実施する際に必要となる CO2 排出量の算定方法等を示した「交通・観光カーボンオフセットガイドライン」(国土交通省推奨)の 2013 年 8 月改訂版を公表しました。

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_top.html#guide

●デマンド交通実証実験運行について【小牧市】

小牧市では、平成 25 年 8 月 1 日から平成 26 年 7 月 31 日までの 1 年間、利用者が電話で手続きを行い、運行区域内の希望する乗降場から目的地まで乗合で運行し、予約がなければ運行しない新しい公共交通である、デマンド交通の実証実験運行を実施しています。

<https://www.city.komaki.aichi.jp/kotsu/7901/008094.html>

●御堂筋で歩行者空間化に向けた社会実験を実施します【大阪市】

大阪市では、平成 25 年 11 月下旬の 1 週間、御堂筋において、東西に 5m ずつある側道を閉鎖することにより、安全で快適な歩行者空間を創出するための社会実験の実施を予定しています。

<http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000231153.html>

●松山市自転車ネットワーク計画の策定について【松山市】

松山市では、「新松山市自転車等利用総合計画(松山市自転車マスタープラン)」の基本方針の一つである「自転車の走行環境の向上(はしる)」の具体化を目的に、「松山市自転車ネットワーク計画」を平成 25 年 8 月に策定しました。

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/kurashi/seibi/jitennsyanetto.html>

●「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2013」開催について【一般社団法人カーフリーデージャパン】

一般社団法人カーフリーデージャパンでは、毎年 9/16 から 9/22 に世界的に行なわれている「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー」について、日本からの参加が 10 年目を迎える 2013 年は初参加の豊橋市、京都市、福岡市を含む 13 都市が参加を表明していることを公表しています。

<http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan/e/20e4c1086c76678655acf232686b2b38>

●宮城県石巻市の仮設住宅に電気自動車を提供【三菱自動車工業株式会社】

三菱自動車工業株式会社では、宮城県石巻市内でカーシェアリングを運営している一般社団法人日本カーシェアリング協会に、電気自動車「i-MiEV(アイ・ミーブ)」6 台を無償で貸与し、被災地における電気自動車のカーシェアリングに協力しています。

<http://www.mitsubishi-motors.com/publish/pressrelease.jp/corporate/2013/news/detail4693.html>

●カーシェアリング主要 8 社の市場動向レポート公開について【株式会社ジエイティップス】

株式会社ジエイティップスでは、カーシェアの情報比較サイト「カーシェアリング比較 360°」において、カーシェアリング市場を独自に集計した主要 8 社の 2013 年第二四半期(2013 年

4月～6月)におけるデータを公開しています。ステーション数は2013第一四半期に比べ9.5%増加、ステーション車両台数は11.9%増加しています。

<http://www.carsharing360.com/special/market/1302.html>

●ハンブルクにおける最新技術搭載のハイブリッドバス調達支援について【ドイツ連邦環境省】

ドイツ連邦環境省では、ハンブルク高架鉄道コンツェルンに属する交通機関2社に対し、ディーゼル・エレクトリック方式を持つ最新技術を伴うハイブリッドバス15台の調達に51万ユーロを助成することを公表しました。ドイツ連邦環境省は、既に2010年と2011年に、交通機関12社に対し、50台のハイブリッドバスの調達支援を行っており、2012年以降も、国家気候保全イニシアティブの枠組みでハイブリッドバスの調達支援を継続しています。これにより、交通機関は、ハイブリッドにかかる追加費用の3分の1の助成金を得ることが可能です。

<http://www.bmu.de/bmu/presse-reden/pressemitteilungen/pm/artikel/bundesumweltministerium-unterstuetzt-anschaffung-von-hochmodernen-hybridbussen-in-hamburg/>

4. イベント情報

●沖縄EST創発セミナー「クルマに頼り過ぎない環境負荷の少ない交通環境の実現に向けて」

日時:2013年9月18日(水) 13:30～16:30

場所:ホテルオーシャン 3階 ジェード

主催:EST普及推進委員会、エコモ財団、内閣府沖縄総合事務局、那覇市

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu23.html>

●第3回地域の交通環境対策推進者養成研修会(岐阜市)

日時:2013年10月9日(水)～11日(金)

場所:じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)小会議室1ほか

主催:EST普及推進委員会、エコモ財団、中部運輸局

<http://www.estfukyu.jp/training2013.html>

●北陸信越EST創発セミナー「環境にやさしい『自転車』を活かしたまちづくりを目指して」

日時:2013年10月31日(木) 13:30～16:30

場所:金沢市文化ホール3階 大会議室

主催:北陸信越運輸局、金沢市、EST普及推進委員会、エコモ財団

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu27.html>

●東北 EST 創発セミナー「秋田発！健康で低炭素な公共交通の推進を目指して」

日時:2013年11月6日(水) 13:30~16:30

場所:ホテルメトロポリタン秋田 3階 グランデ(B)

主催:東北運輸局、EST 普及推進委員会、エコモ財団

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu29.html>

●交通・観光カーボンオフセット実務担当者向け講習会

日時:2013年8月30日(金)14:00~17:00

場所:エコモ財団第1会議室

主催:エコモ財団

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/data/koushuukai_13.06.07.pdf

●グリーン経営講習会

日時:2013年9月12日(木) 13:30~16:30

場所:石川県トラック会館 大研修室

主催:北陸信越運輸局交通環境部

http://www.tb.mlit.go.jp/hokushin/hrt54/environment/pdf/greenkoushuu_kanazawa_130912.pdf

●EV・PHV タウンシンポジウム—in 東京—(仮称)

日時:2013年9月27日(金) 10:30~16:00

場所:東京ビックサイト 東ホール EVEX会場内

主催:経済産業省、一般社団法人次世代自動車振興センター

<http://www.cev-pc.or.jp/symposium2503/index.html>

●バスフェスタ 2013 in TOKYO

日時:2013年10月5日(土)

場所:代々木公園ケヤキ並木(東京都)

主催:公益社団法人日本バス協会

<http://www.bus.or.jp/busfesta/index.html>

●LRT 都市サミット豊橋 2013

日時:2013年10月25日(金)~26日(土)

場所:穂の国とよはし芸術劇場

主催:豊橋市

http://www.city.toyohashi.aichi.jp/bu_toshikeikaku/toshikotsu/lrt2013/

●エコプロダクツ 2013[第 15 回]

日時:2013 年 12 月 12 日(木)~14 日(土)

場所:東京ビッグサイト(東 1~6 ホール [予定])

主催:一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/eco2013/>

5. その他

●EST パートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！

http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html

●EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！

<https://twitter.com/officeEST>

●平成 25 年度交通・観光カーボンオフセットモデル事業を募集しています！

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/20130417.html

●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>

●「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp/>

●エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html

●記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail: magazine@ecommo.or.jp (担当:熊井)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>